

パンと私

私は障害者になって以来、外出が減った。一人でバスに乗ることができないため、常に親の同伴が必要だった。

そのような頃、市の主催する障害者対象の講座にパン教室があるのを知った。パンが好きなので参加したかったが、バスでの行き帰りが問題だった。結局、母が付き添ってくれたので、パン教室に通うことができた。その後リハビリセンターに入所する決心がついたのは、パン教室で出会った障害者の方々の影響だろう。

リハビリセンターでの訓練の結果、一人で外出したりバスに乗ったりできるようになった私は、就職の夢が叶った。パンが好き、という単純なことが今の就職に繋がったと思うと、不思議なものである。

就職後は、通勤途中にあるパン屋に時折寄るのが楽しみになった。朝、昼食用のパンを買うと、昼休みを楽しみに仕事ができた。入院して食欲が落ち、少しでも食べなければと悩んでいたとき、食事にパンが出たことがきっかけで、食欲を回復させることができたこともあった。好物の力は意外に大きい。

パン教室に行ったものの、家で実践したことは殆どない。教室の成果は、今のところ外出の機会を得、就職に繋がったことだけになっている。

(由)